

しゃかいしほんそうごうせいびけいかく(だい1かいへんこう)  
社会資本総合整備計画(第1回変更)

とっとりけんよなごし  
鳥取県 米子市

平成29年3月

社会資本総合整備計画

平成29年3月24日

計画の名称	14 米子駅周辺における安全・安心な歩行空間の創出（防災・安全）				重点計画の該当	○
計画の期間	平成28年度 ～ 平成32年度（5年間）		交付対象	米子市		
計画の目標						

J R山陰本線で分断された米子駅周辺地区において、南北自由通路及び駅南広場を一体的に整備することにより、駅へのアクセス改善による利便性向上や、交通結節点としての機能強化を図り、併せて、高齢者や障がい者など歩行者に配慮したユニバーサルデザイン化（エレベーター、視覚障がい者誘導用ブロックなど）を行うことで、安全・安心な歩行空間の創出を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・ 1日あたりの駅利用者数を7,100人から7,900人に増加させる。
- ・ 歩行者の駅南地区から米子駅までのアクセス時間を3.9分短縮させる。（現況では米子駅のアクセスは駅の北側からに限られているため、駅南地区の住民は大幅な迂回が必要となっている。ユニバーサルデザイン化された南北自由通路・駅南広場を利用することで、高齢者や障害者など歩行者が安全に安心して駅を利用でき、アクセス時間も短縮される。）

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	(H28当初)	(H30末)	(H32末)	
1日あたりの駅利用者数を計測する。（駅利用者数=JR利用者+自由通路を利用するがJRは利用しない者） ・最終目標値7,900人≒7,186人【（JR利用者見込数(H32):推計人口143,729人×5%）】+719人【（自由通路を利用するがJRは利用しない者:7,186人×10%）】 <5%：人口に対する駅利用者数の割合（H26実績値）、10%：JRは利用しないが自由通路のみを通過する者のJR利用者数に対する割合（自由通路を整備した他駅事例より推計）>	7,100人	—	7,900人	・現況値7,100人（H26年度実績値）
歩行者の駅南地区から米子駅までのアクセス時間を算定する。 ・最終目標値3.9分短縮＝【（整備後のアクセス時間9.1分）－（整備前のアクセス時間13.0分）】	13.0分	—	9.1分 (3.9分短縮)	・現況値13.0分（H27年度算定値）

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,783百万円	A	3,783百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	---	---	---	---	---	-----------------------------	------

交付対象事業

A1 道路事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	費用便益比	備考
											H28	H29	H30	H31	H32				
A1-1	街路	一般	米子市	直接	米子市	S街路	改築	米子駅南北自由通路（自由通路）	自由通路整備 L=0.1km	米子市						3,343	—	—	
A1-2	街路	一般	米子市	直接	米子市	S街路	改築	米子駅目久美町線（駅南広場）	駅南広場整備 A=0.5ha	米子市						440	—	—	
小計															3,783	—	—		

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H28	H29	H30	H31	H32		
小計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
小計															

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

交付金の執行状況

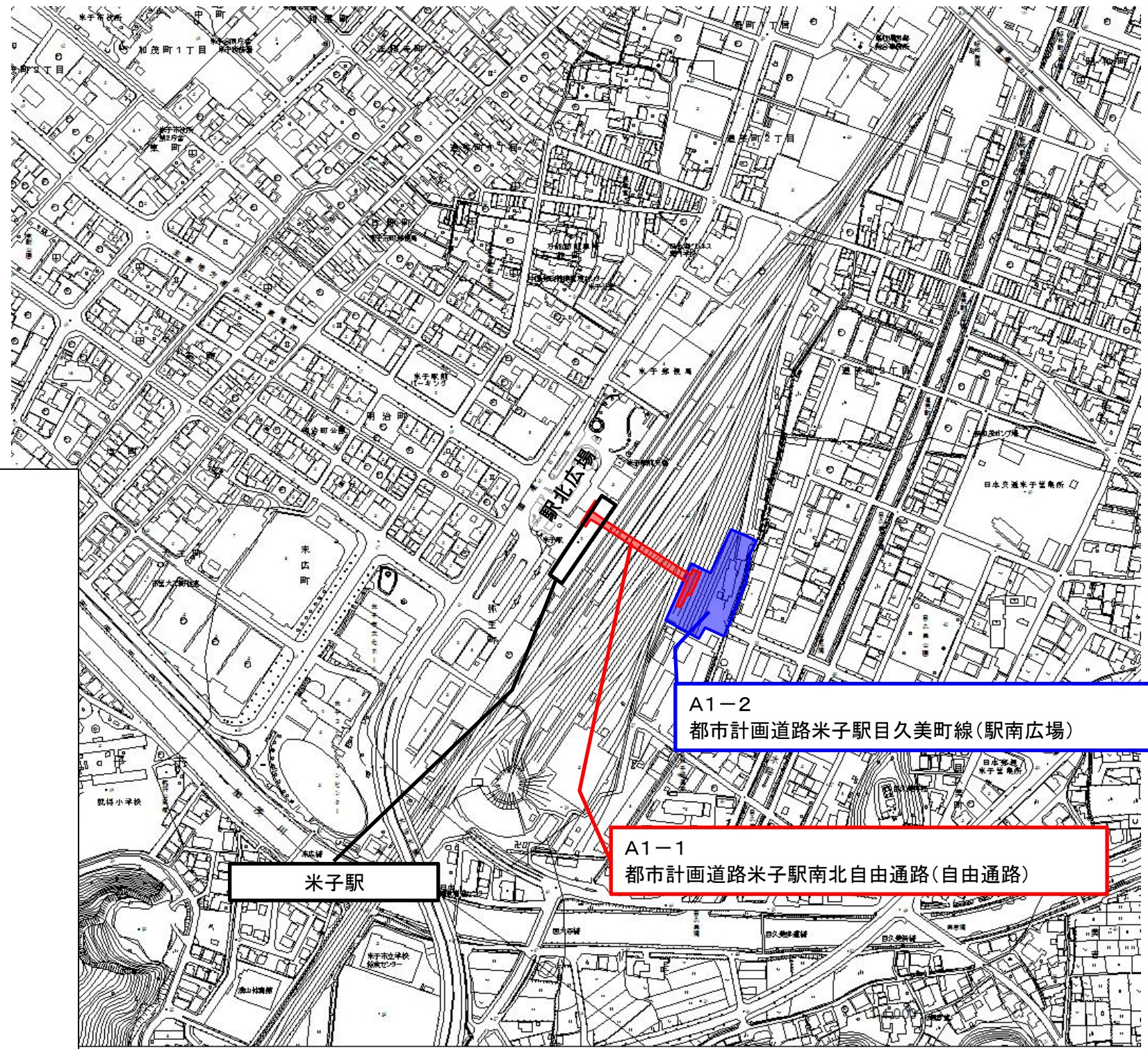
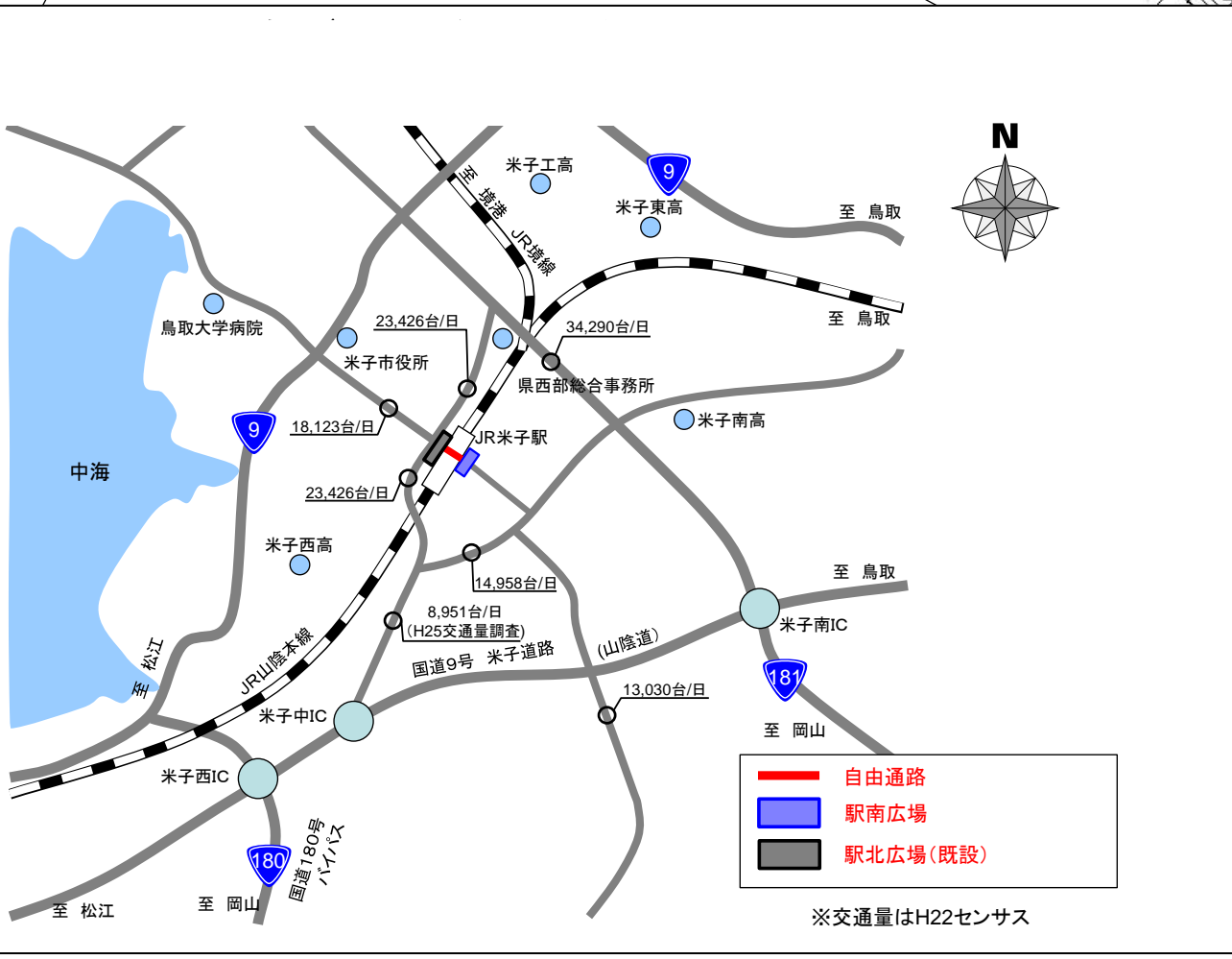
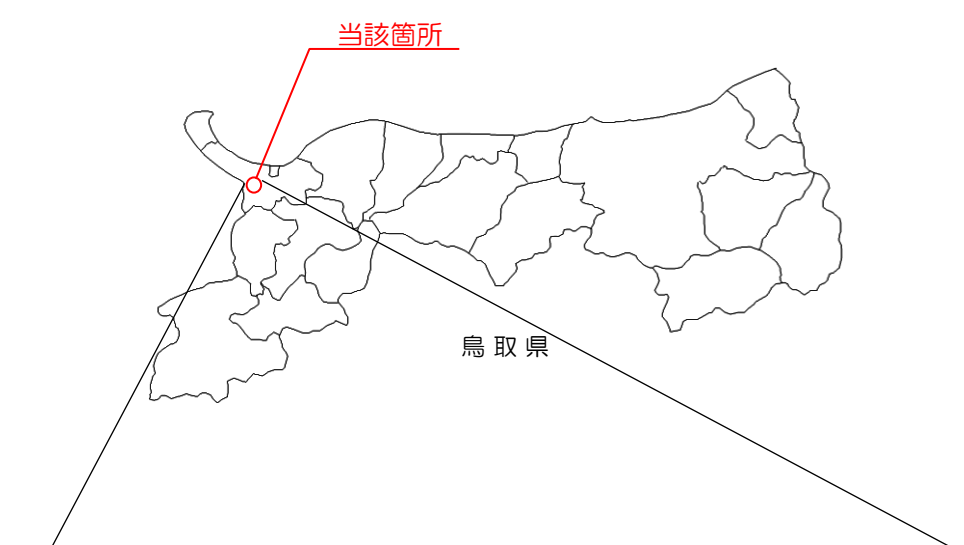
(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	81.675				
計画別流用 増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	81.675				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h=c+d-e-f)					
未契約繰越+不要率 (i=(g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

(参考図面)

計画の名称	14 米子駅周辺における安全・安心な歩行空間の創出 (防災・安全)		
計画の期間	平成28年度～平成32年度 (5年間)	交付対象	米子市



# 社会資本総合整備計画チェックシート

計画の名称：14 米子駅周辺における安全・安心な歩行空間の創出(防災・安全)

事業主体名：米子市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性が確保されている。	○
②地域の課題と整備計画の目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
③目標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④十分な事業効果が発揮される。	○
⑤事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業実施に向けた機運がある。	○
②計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○